

【担当教員名】 市島民子	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

言語発達の前言語期から言語期への過程を中心に学ぶ。
 前言語期では、音声言語の基盤である音・音声およびコミュニケーションの発達過程について
 言語期では、“ことばはいかに獲得されるか”というテーマで、初期言語獲得過程について学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- ・健常児の言語発達は、言語発達障害の基盤であり、言語臨床の評価および指導のために必須である。すべてが基礎知識として必要であるため、確実に学習し理解する。
- ・視聴覚機器を使用することで、実際の状態を確認しながら、各々が具体的に、体験的な学習となるよう努める。
- ・基礎的な知識として、専門用語を理解し、使用できること。

回数	計画又は学習の主題		SBO	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
			番号	
1	言語発達とその関連領域	全体発達の一領域としての言語を理解する		講義
2	乳児のコミュニケーション	養育者との関係性を中心として。視ること		講義・視聴覚機器使用
3	乳児のコミュニケーション	養育者との関係性を中心として。聴くこと		講義・視聴覚機器使用
4	音・音声の発達（1）	声から音声への過程		講義・視聴覚機器使用
5	音・音声の発達（2）	音声からことばへの過程		講義・視聴覚機器使用
6	音韻発達	初期言語獲得（移行期の過程）		講義
7	総括	言語発達研究の紹介および解説		講義

【使用図書】

<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>

教科書

参考書

その他の資料

入門コース ことばの発達と障害 1：ことばの発達入門 秦野悦子編 大修館書店 2001年

講義では全てプリント使用

【評価方法】

小レポート
 試験またはレポート

【履修上の留意点】